

# オオサンショウウオ

学名	<i>Andrias japonicus</i>	
目名	サンショウウオ目	
目名学名	Caudata	
科名	オオサンショウウオ科	
科名学名	<i>Cryptobranchidae</i>	
カテゴリー	大分県： I A (CR)	環境省： 準 (NT)



## [選定理由]

本県は日本における生息域の南限域で、九州における唯一の自然繁殖地である。生息域のほとんどが私有地のため、森林が伐採されれば生息環境の悪化をきたし、絶滅の危険性が極めて高い。

県内分布	宇佐市
分布域	本州(中部・近畿・中国地方)九州(大分)
世界的分布	
生息環境	針広混合林の二次林中の渓流域
現 状	当該地では、近年卵塊や幼生を目視することが少なくなっている。
備 考	国特別天然記念物「オオサンショウウオ南院内各河川」国天然記念物「オオサンショウウオ生息地旧南院内村全村」(院内町)

# オオイタサンショウウオ

学名 *Hynobius dunni* Tago

目名 サンショウウオ目

目名学名 Caudata

科名 サンショウウオ科

科名学名 *Hynobiidae*

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU)

環境省：Ⅱ (VU)



## 【選定理由】

サンショウウオ属の中では分布域が狭く、本県が主な生息地となっている。都市部やその周辺部では開発や休耕田の増加などにより、生息地の消滅が懸念される。

県内分布	宇佐市、宇佐郡、豊後高田市、西国東郡、東国東郡、杵築市、速見郡、別府市、大分市、大分郡、北海部郡、臼杵市、津久見市、佐伯市、南海部郡、竹田市、大野郡、直入郡
分布域	四国(土佐清水)九州(熊本・大分・宮崎)
世界的分布	
生息環境	標高10～800mの池沼や水田などの止水域
現状	生息域や産卵地が開発や水質汚染などの影響を受け、個体数が激減しているところがある。
備考	佐伯市城山の雄池・雌池付近は本種の標準産地、大分県天然記念物「佐伯市城山のオオイタサンショウウオ」(佐伯市城山)大分市指定天然記念物「オオイタサンショウウオ及び生息地」(霊山寺弁天池)

# オオダイガハラサンショウウオ

学名 *Hynobius boulengeri*

目名 サンショウウオ目

目名学名 Caudata

科名 サンショウウオ科

科名学名 *Hynobiidae*

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU)

環境省：Ⅱ (VU)



## 【選定理由】

ソハヤキ要素の主要な動物である。従来は地域個体群とされていたが、環境省がそれぞれの生息域の個体が遺伝的に大きく異なることから種全体を絶滅危惧Ⅱ類と変更したので、大分県でも変更した。

県内分布	竹田市、大野郡、南海部郡
分布域	本州(近畿地方)四国、九州(熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	
生息環境	標高500～1500mの自然林内の渓流域
現状	生息地域の祖母・傾山系は国定公園に指定されているが、一部の地域では自然林の伐採などにより生息環境が悪化している。
備考	大分県天然記念物「奥祖母のオオダイガハラサンショウウオ」(祖母山系、緒方町)

# カスミサンショウウオ

学名 *Hynobius nebulosus*

目名 サンショウウオ目

目名学名 Caudata

科名 サンショウウオ科

科名学名 *Hynobiidae*

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU)

環境省：Ⅱ (VU)



## 【選定理由】

本県の個体群は、西九州・北九州の個体群よりやや大型の傾向が見られる。近年生息地の消失、汚水の流入、水田の乾燥化、圃場整備などにより生息環境の悪化、生息数の激減が見られる。

県内分布	宇佐市、豊後高田市
分布域	本州(近畿・中国地方)四国、九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・鹿児島)
世界的分布	
生息環境	沿岸近くの低地や谷間の水田・湿地などの止水域
現状	宅地造成、汚水流入、水田の圃場整備などの増大で生息地が減少し、個体数が激減している。
備考	

# ブチサンショウウオ

学名 *Hynobius naevius*

目名 サンショウウオ目

目名学名 Caudata

科名 サンショウウオ科

科名学名 *Hynobiidae*

カテゴリー 大分県：準(NT)

環境省：準(NT)



## [選定理由]

県下には生息地が多く確認されているが、溪流に生息しているため、道路建設、ダム建設、森林伐採などにより生息環境が悪化している。

県内分布	下毛郡、西国東郡、東国東郡、大分郡、南海部郡、日田市、日田郡、玖珠郡、竹田市
分布域	本州(近畿・中国地方)四国、九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・鹿児島)
世界的分布	
生息環境	自然林内の溪流域
現状	自然林の伐採、汚水流入などにより個体数の減少が見られる。
備考	

# トノサマガエル

学名 *Rana nigromaculata*

目名 カエル目

目名学名 Anura

科名 アカガエル科

科名学名 *Ranidae*

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU)

環境省：掲載なし



## [選定理由]

都市化による水田の消滅、休耕田の増加、農薬による水質の悪化などで個体数が減少しているところが多く、生息地の消滅が懸念される。

県内分布	中津市、下毛郡、宇佐市、宇佐郡、豊後高田市、東国東郡、速見郡、大分郡、日田市、日田郡、玖珠郡、竹田市、大野郡、直入郡
分布域	本州（関東地方から仙台平野を除いた地方）四国、九州（福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島）
世界的分布	
生息環境	水田・池沼やその周辺
現状	県内全域の水田やその周辺域に生息していたが、1960年ごろから、個体数が激減し、その傾向は現在も続いている。
備考	

# ニホンヒキガエル

学名 *Bufo japonicus*

目名 カエル目

目名学名 Anura

科名 ヒキガエル科

科名学名 *Bufo*

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：掲載なし



## [選定理由]

生息域はかなり広いが、開発・汚染の進行している平地・山間地域などでは、個体数が激減し、平地から山間部へと生息域が移行している。

県内分布	県内全域
分布域	本州(近畿・中国地方)四国、九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・鹿児島)
世界的分布	
生息環境	生息域は海岸から1000mくらいの高知の藪、林、森など
現状	都市化によって、生息地の消滅や汚染が見られ、目視できなくなったところが多く見られる。
備考	